

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	国語	科目	国語探究	学年	第2学年	類型	Ⅱ型文系
単位数	1単位	教科書	新成 古典（尚文出版）				
補助教材	学ぶぞ 古文と漢文（尚文出版）、核心古文単語351（尚文出版） 〔新版六訂〕カラー版新国語便覧（第一学習社）						

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------	---

学期	月	単元（学習項目）	学習内容・単元の目標	定期考査
1学期	4月	粟田讃岐守兼房といふ人	用言の活用について復習する。	期末考査
	5月	無益のことをなして そこは物すむ所にて	古文を読むために必要な語句の量を増やす。 古文特有の表現に注意して内容を捉える。	
	6月	謂曰、君有不善 夫姦臣固皆	音読を通して、漢文の響きやリズムを体感する。 訓読のきまりについて復習する。	
	7月	孟子曰、人之	再読文字について復習し、否定形について理解する。	
2学期	8月	ことし元禄二とせにや	助動詞の文法的意味、活用、接続などについて復習する。	中間考査
	9月	二品ならびに御台所 嘉応二年十月九日	和歌のリズムや修辞などの表現の特色について理解を深める。 登場人物を正確に把握し、内容を捉える。	
	10月	帝問、太尉酔邪	語句の読みや意味を理解し、漢文を読むために必要な語句の量を増やす。	期末考査
	11月	公曰、寡人為 友人至其家、聞哭声	疑問形について理解する。 反語形について理解する。	
	12月	項伯即入見沛公	書き手の目的や意図を捉えて内容を解釈する。	
3学期	1月	入らせ給ふべきことも 関白殿、黒戸より	敬語の種類、意味、敬意の方向などについて復習する。	学年末考査
	2月	御女、村上の御時の 斉桓公使管仲治国	敬語の種類、意味、敬意の方向などについて復習する。 文章の種類を踏まえて、構成や展開、筆者の思いなどを的確に捉える。 使役形、受身形、限定形について理解する。	
	3月	呉恢為南海太守 魯国之法、魯人	句法理解が現代語訳の作成、ひいては内容把握につながることを理解する。 内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げる。	

学習の方法	<p>事前学習では、言葉の意味を調べたり、辞書を活用したりしながら古典を理解していきましょう。授業中は大事なところをメモしながら、丁寧に文字を書くように心掛けましょう。文法的知識を習得し、主旨を把握することはもちろん、今も昔も変わらないものの考え方や見方を捉えることが大切です。</p>
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けている。
評価方法	<p>評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・レポート・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。</p>		